社団法人茨城県危険物安全協会連合会

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代	表	者	名		会長	幡谷	定俊(非常	勤)県	所	管き	邯	課			部	3	課	
所	7	玍	地	水戸市笠	原町978-	-25県開	発公社ビルロ	カ 電	話	番	;	号	029-	-301	- 787	8		
ホー	-ムペ	ージし	JRL	http://	/www.i	<u>bakire</u>	n.or.jp	E	≔mai	アドレ	ハ		<u>info@</u>	[®] ibakir	en.or	<u>.jp</u>		
		基本財				0	千円		設立	年月	日		昭和	60年4	4月16	3		
		出資	順位	田		資	Į	者			名			出資	額		出資比率	<u>x</u>
		1													千	円		%
主	+~	2													千	円		%
	な 資者	3	3												千	円		%
ГШ.	只旧	4	1												千	円		%
		5	5												千	円		%
		その	他		団体										千	円		%
設目	(設立の目的) 消防法に基づく危険物の貯蔵,取扱い並びに,施設の維持管理に必要な知識及び技能の普及に努め,危険物に起因する災害を防止し,もって社会公共の福祉の増進に寄与する。 (県の関与) 消防法第13条の23による知事の行う危険物の取扱作業の保安に関する講習の受託実目的施。																	

[事業の概要]

事	業 名	平成17年度事業費	内容
事業1	危険物取扱者保 安講習会	千円 14,932	
事業2	危険物取扱者試 験準備講習会	千円 9,149	目的:危険物取扱者免状取得を促進し,事業所の保安管理を促進する。 内容:危険物取扱者試験にあわせ,合格率向上のため 講習を実施する。 公益性:無資格者を減少させることにより,県民への安 心感を確保する。
事業3	危険物関係功労 者等の表彰	千円 802	目的:自主保安意識を高揚させる。 内容:危険物安全週間に優良事業所等を表彰する。 公益性:地域に信頼させる事業所を育成することにより,安心・安全なまちづくりに貢献する。

[組織]

	年度	平。	成15年	_	平	成16年		3	平成17年	
7月1日現在の人数			県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB
	常勤理事	1	1	0	1	1	0	1	1	0
	非常勤理事	11	0	0	11	0	0	11	0	0
役員	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	14	1	0	14	1	0	14	1	0
	管理職	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般職	2	0	0	2	0	0	2	0	0
職員	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	計	3	0	0	3	0	0	3	0	0
当期常勤職員 20代以		以下 3	O代	40f	t 501	代以上	合計	平均年的		勆続年数
の年齢	の年齢構成				1	1	3	40歳3	月 1	1年6月

[収	(支の状況]		社団法人茨城県危険物安全協会連合会	(単位:千円)
	区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	収入合計	69,461	67,416	65,057
	事業収入	58,522	56,494	53,644
	事業外収入	10,939	10,922	11,413
	支出合計	69,399	67,317	65,055
収	事業支出	50,754	48,212	46,898
支	事業外支出	18,645	19,105	18,157
の	うち管理費	11,334	11,683	10,710
	うち人件費	24,756	24,865	25,248
状	当期収支差額	62	99	2
況	正味財産増加額	5,555	7,205	4,549
	正味財産減少額	2,721	3,041	2,252
	当期正味財産増減額	2,896	4,263	2,299
	前期繰越正味財産	59,605	62,501	66,764
	期末正味財産	62,501	66,764	69,063
	資産	77,925	85,229	89,779
財	流動資産	7,572	8,712	8,793
	固定資産	70,353	76,517	80,986
産	負債	15,424	18,465	20,716
の	流動負債	4,809	5,850	5,929
状	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	10,615	12,615	14,787
況	うち長期借入金	0	0	0
	正味財産	62,501	66,764	69,063
[財	的関与の状況]			(単位:千円)

(単位:千円) [財的関与の状況]

	区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	補助金	0	0	0
財的	委託金	34,058	32,244	32,495
関	貸付金			
与状	計	34,058	32,244	32,495
況	財政的関与の割合(%)	49%	48%	50%
	損失補償·債務保証			

[平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支出項目	目の・内容・効果
補助金	
委託金	知事の行う保安講習会の実施について,その事務の一部を受託し,講習会の 広報,運営を行うとともに,受講義務者の受講確保について,事業所への案内 通知等により,法遵守促進を図る。
貸付金	

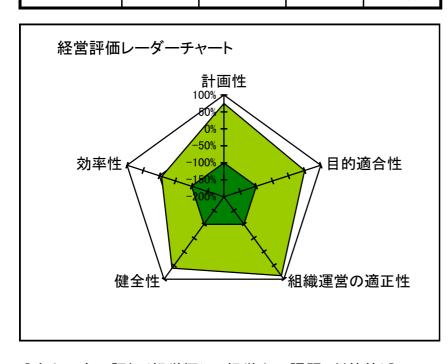
[評点集計]

CHI //W//NHI				
評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	6	8	75.0%
目的適合性	5	7	14	50.0%
組織運営の適正性	4	7	8	87.5%
健全性	11	24	40	60.0%
効率性	8	-2	28	-7.1%
合計	32	42	98	42.9%

公益法人会計用

社団法人茨城県危険物安全協会連合会

警 戒 指 標



《評価の視点》

WAT IF . IPPOTENT				
計画性	経営目的,経営方針が各種計画に 反映され,計画・実行・見直しが行 われているか			
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか			
組織運営の 適正性	組織, 人事, 財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され, かつ情報公開による透明性の確保が適切か			
健全性	法人の財務体質が健全であるか、 また、各事業の採算性がとれているか			
効率性	組織の管理運営上における人的・ 物的な経営資源が有効活用されて いるか			

各評価項目については、「出資法人等 経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況,経営上の課題,対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
引き続き,経営基本 方針に沿って計画的	受講者確保について は、電算システムの効	今後とも、諸規定に 基づき、適正な組織 運営に努めたい。	引き続き, 受講者拡 大による事業収入の 確保に努める。	引き続き, 電算システム, インターネットホームページの充実により, 効率的な運営に心がける。
今後の事業展開の方向	受講者の大幅な減少に	勿事故が増加の傾向に		ミに努める。 容の一層の工夫と,未

[法人を担当する課の意見]

ログスとニーノのかい				
計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
経営基本方針及び	事業効果を一層高め	引き続き諸規定に	引き続き事務経費	地区協会との連携
中長期計画に基づ	るため、保安講習会、	基づき適正な組織運	の削減及び受講生	強化を進める等、更な
き, 引き続き計画的な	準備講習会の受講生	営に努められたい。	の確保に努め、健全	る事務事業の効率化
組織運営に努められ	確保に努められたい。		な組織運営を図られ	を図られたい。
たい。			たい。	
			•	
	推進	 事項	取組	み状況
第三次行財政改革				
大綱に係る取組状況				
	経営基本方針及び中	長期計画に沿った計画), 健全な組織運営を維
	持されたい。			, , ,
法人担当課の意見				

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	計画性 目的適合性 組織運営の適正性 健全性 効率性
総合的所見等	概ね良好 改善の余地がある 緊急の改善措置が必要 県民生活の安全確保が重要性を増している中、県内における危険物に係る事故やそれに伴う死傷者も未だに発生していることから、連合会の危険物に係る安全意識の普及・啓発活動は重要性を増している。 引き続き、保安講習会等の未受講者への受講促進や講習内容の充実を積極的に行い、危険物災害の防止に寄与されたい。

総合的所見等に係る対応

ホームページ等の活用による,保安講習会等の未受講者の受講促進や,講習内容の充実により,危険物災害防止に寄与し,現在の経営状態を維持できるよう指導していく。

< 社団法人茨城県危険物安全協会連合会 から県民のみなさまへ>

当法人は、県内の各消防本部や延べ5、000の事業所で組織する地区の危険物安全協会と協力して、事業所等の危険物の安全管理を促進するため諸事業を行っている公益法人です。

近年, 危険物の事故は全国的に増加してきており, 今後より積極的な広報活動を行い, 事業所や危険物取扱者に対する安全思想や技術の普及・啓発を図り, 危険物災害の撲滅による安全・安心のまちづくりに向けた取り組みを推進してまいります。

平成18年2月 会 長 幡 谷 定 俊